

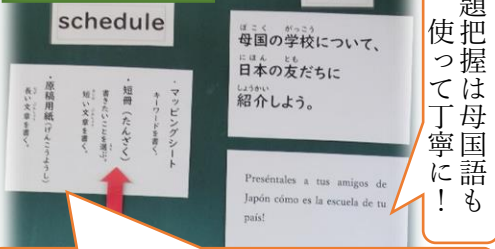
# 令和2年度外国人児童生徒等に対する日本語指導研究協議会 記録

日程：11月17日 会場：太田市立東中学校 作成：群馬県教育委員会義務教育課

## 公開授業「教材：自分の考えを表現しよう」 ～母国の学校について、日本の友達に紹介しよう～

日本語に慣れ親しみ、  
定着させる工夫がたくさん！

### 学びの導入



課題把握は母国語も使って丁寧にも！

### 活動の焦点化



短冊を動かして文章の構成を意識化！接続詞の利用を促す！

微妙なニュアンスは日本語指導助手が正確に！

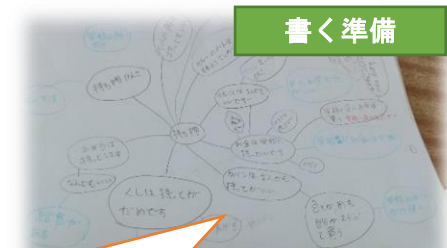
### 安心感



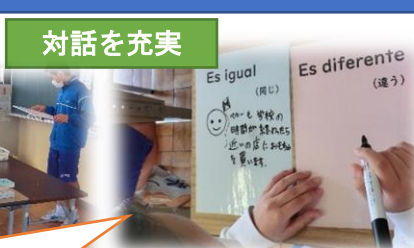
見通しは視覚化して主体的な学びに！

よく構成されたまとまりのある文を書けました

### 学びの自覚



### 書く準備



### 対話を充実

マッピングで日本語の材料集め！

友達の発表を聞き、同じ・違うを視点に考える！

一人一人の考えが揭示されて学びの意欲も向上！



### <参観者の感想>

- ・ 掲示物等、整った環境で生徒たちが安心して学習に取り組み、日本語の力がよく身に付いていた。
- ・ 計画的な授業により、作文の基本が身に付き、表現することの楽しさが感じられる授業だった。
- ・ 国籍に関係なくすべての生徒が落ち着いて授業に参加し、個性の伸張につながることが分かった。

## 全体協議内容

JLT、長期研修員の疑問・悩みを基に協議しました

### <授業検討会>

- Q. 実態の異なる児童を複数名指導する際の配慮について
  - ☞ 個別対応を充実し、在籍学級との接続、連動を重視したカリキュラムを作成する。
- Q. 「読む」「聞く」「話す」「書く」の指導に当たっての留意点について
  - ☞ 「読む」は小学校1年生の読み物から始め、低学年のテスト等を活用する。
  - ☞ 「聞く」は日常の会話を基盤にする。「話す」は太田市プレクラスの学びにより日本語が全く話せない子は少ないため、小学校低学年の教材を使った活動や、簡単なやりとりなどを中心に指導する。「書く」は、まず母国語で母国のことを話す等、子供の話したい気持ちを大切にしながら内容を構成する。
- Q. 漢字の指導について
  - ☞ 太田市の教材「漢字大好き」の活用、苦手な漢字の意識化を基盤に、家庭学習も含めて書く活動を多く行う。

### <協議「日本語指導の現状と課題」太田市の取組>

- ・ 国際教室設置校への入学、40日間のプレクラスへの入級等、初期指導を重視した就学支援を行っている。
- ・ バイリンガル教員や日本語指導助手等を配置している。
- ・ 教科指導は最低限の日本語を習得した後に進行。英語、数学で「できる感覚」を味わわせるようにする。
- ・ 指導回数が限られるときは、遊びを通じてコミュニケーションを図り、子供の心をつかむことを大切にしたい。
- ・ 細かな文法より、意思を伝えることに重きをおく。
- ・ 日本語習得に関わる個人評価表を通じて、プレクラスや学校内での連携を図る。
- ・ 取り出し指導、ルビを振った教科書の活用、入り込み指導等、段階をおって在籍学級の授業に適応させる。
- ・ 入り込み指導を行う場合は、日本語指導担当教員が日本人の生徒も同様に指導・支援し、どの生徒もフォローされている雰囲気を作ることも大切となる。

### <協議「日本語指導の現状と課題」>

- Q. 外国人特別選抜が適用されない受検指導について
  - ☞ 英語や数学など、日本語の影響が少ない教科を得学分野にするとともに、他教科の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図れるようにする。
  - ☞ 外国人生徒の学びをひらく入試制度が必要となる。
- Q. 取り出し指導における授業過程について
  - ☞ 太田市では、めあて、展開、振り返りの各段階を充実させ、学びの自覚や問題意識を高めている。
  - ☞ めあて、振り返りの意義を指導者が自覚し、生徒の学ぶ力の育成につなげることが大切となる。

### <まとめ>

- ・ 本日の授業は、安心して学習する支援が充実していた。
- ・ めあて「日本の友達に向けて」を在籍学級につなげたい。
- ・ 日本語指導が必要な生徒は増加している。高校入試に向けた指導の充実を図ることが重要となる。